

教科名〔 理科 〕

科目名	単位数	学年・組	担当者名
地学	3単位	3学年 地学 選択者	*

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	地球や宇宙に関する様々な自然現象を科学的に理解する。
使用教科書・副教材等	高等学校・地学 第一学習社 [183 第一地 005] 手作りのプリント

2 学習計画及び評価法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 1. 学習活動の特記事項 2. 副教材の使用など	考查範囲	評価の観点のポイント			
						関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
第1学期	第1章 わたしたちのすむ地球[20] 1.生命の星 - 地球[3] 2.地球の内部[3] 3.火山と地震 (1)火山[4]	4 ・ 5	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系についての概略を説明し、地球上に生命がなぜ生じたかについて考える。 ・地球の形と大きさについて理解する。 ・プレートテクトニクスの考え方を理解する ・火成岩について理解する ・火山の生じるしくみを理解する。 ・溶岩の性質と火山噴火の様式、火山の形とを関連付けて理解する。 ・日本と世界の火山帯について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主にプリントを中心に授業を進め、空欄や問いを入れて考えさせ書き込ませる。 ・プリント ・プリントの提出 	第1学期中間考查				
	(2)地震[6] (3)地震波による地球の内部構造の推定[4]	6 ・ 7 ・ 8	<ul style="list-style-type: none"> ・地震が生じる仕組みを考えさせ、震度やマグニチュードについて理解する。 ・地震波について理解する。 ・プレートの動きと地震の起き方を、実習の作業も入れながら考える。 ・地球の内部構造が地震波により推定される仕組みを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントによる作業 ・プリント ・プリントの提出 	第1学期期末考查				
第2学期	第4章 宇宙の姿[20] 1. 地球の自転と公転に伴う天体の動き (1)太陽と恒星の見かけの動き[6] (2)月について[1]	9 ・ 10	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の自転に伴う恒星の見かけの動きを考える。 ・地球の自転、公転に伴う太陽の見かけの動きを考える。 ・月の運動を考えさせ、日食や月食についても理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントに問いの形式で考えさせながら書き込ませる。 	第2学期中間考查				

	(3)地球の自転と公転の証拠[3]		・地球の自転や公転の証拠を考える。	・プリントの提出					
	(4)時刻について[2] (5)惑星の運動[3]		・時刻をどのように決めているかを考える。 ・惑星の見かけの動きや、会合周期、公転周期について考えさせ、ケプラーの法則についても少し学ぶ。	・別のプリントで演習形式で考えさせる。					
	2. 恒星の性質と進化 (1) 恒星の明るさと距離[2] (2) 恒星の誕生と進化[3]	10 ・ 11 ・ 12	・恒星の明るさや絶対等級について学び、恒星までの距離の求め方についても簡単に学ぶ。 ・恒星の誕生と終末。ブラックホールについて学ぶ。	・プリントに問いの形式で書き込ませる。 ・プリントとビデオを見せて、感想文を書かせる。 ・プリント提出					第2学期期末考査
第3学期	地球環境の破壊について[4]	1 ・ 2 ・ 3	・オゾン層の破壊、地球の温暖化の問題、酸性雨の問題をテーマに選び、環境問題について考える。	プリント					学年末考査
<p>【1・2・3学期における課題・提出物等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業用のプリントを全部提出。 ・感想文や実習用のプリントを提出。 ・1.2.学期の終わりに、プリントの内容から課題を作り、それを各学期の初めに提出。 									
<p>【1・2・3学期における評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント類や課題、基礎学力テストの点数および授業中の質問にたいする答え方等を平常点として3割、各学期の中間と期末考査の平均を7割として100点満点で評価する。 									